

授業科目

視覚機能訓練学I

担当教員名 村田 憲章、橋本 勇希 (非)、進藤 真紀 (非)、小林 昭子 (非)	対象学年	2	対象学科	視機
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	◎	

授業の概要

視能訓練の基本的知識と技術を身につけ、検査結果の正しい評価および、斜視弱視患者の診断に必要な検査について学ぶ。

授業の目的

視能訓練の基本的知識と技術の概要、斜視の各論および診断に必要な検査、眼位検査、網膜対応検査、眼球運動検査、大型弱視鏡の使用方法和検査結果の評価法について理解する。

学習目標

1. 視能訓練の基本的知識と技術が理解できる。
2. 斜視の各論および診断に必要な検査が理解できる。
3. 眼位検査、網膜対応検査、眼球運動検査、大型弱視鏡の使用方法和検査結果を説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	ガイダンス、斜視と斜位、内斜視	講義	村田 憲章
2	内斜視各論（調節性内斜視、非調節性内斜視、他）	講義	村田 憲章
3	外斜視、外斜視各論（間欠性外斜視、恒常性外斜視、他）	講義	村田 憲章
4	麻痺性斜視の分類	講義	橋本 勇希
5	特殊斜視の分類	講義	橋本 勇希
6	網膜対応1 網膜正常対応と網膜異常対応	講義	村田 憲章
7	網膜対応2 網膜異常対応、微小斜視	講義	村田 憲章
8	小括1	講義	村田 憲章
9	小児の視覚特性 感受性期と読み分け困難、年齢に応じた検査の選択	講義	進藤 真紀
10	弱視の基本的知識 弱視の原因的分類、嫌悪反射、偏心固視、ガンマ角異常	講義	進藤 真紀
11	弱視の各型、弱視の原因的分類と重症度	講義	進藤 真紀
12	弱視の検査、診断、固視検査、他覚的、自覚的検査、眼位検査の流れ	講義	進藤 真紀
13	弱視の（長期）経過	講義	小林 昭子
14	斜視の（長期）経過	講義	小林 昭子
15	小括2	講義	村田 憲章

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	視能学 第2版	丸尾敏夫、久保田伸枝、深井小久子（編）	文光堂	2011年	18,000円＋税	前年までに購入済み
参考書	小児眼科学	東範行（編）	三輪書店	2015年	24,000円＋税	
その他の資料	必要に応じて資料を配布する。					

評価方法

定期試験: 70%
小試験: 20%

提出物: 10%

履修上の留意点

再試験、追試験は必要があれば原則1回のみ実施する。
締め切りを過ぎた提出物は原則として受け取らない。

オフィスアワー・連絡先

毎週水曜日の昼休み
P201
murata@nuhw.ac.jp